

1. 活用推進者

部署 技術開発部
役職 ゼネラルマネージャ
氏名 勝見 哲也

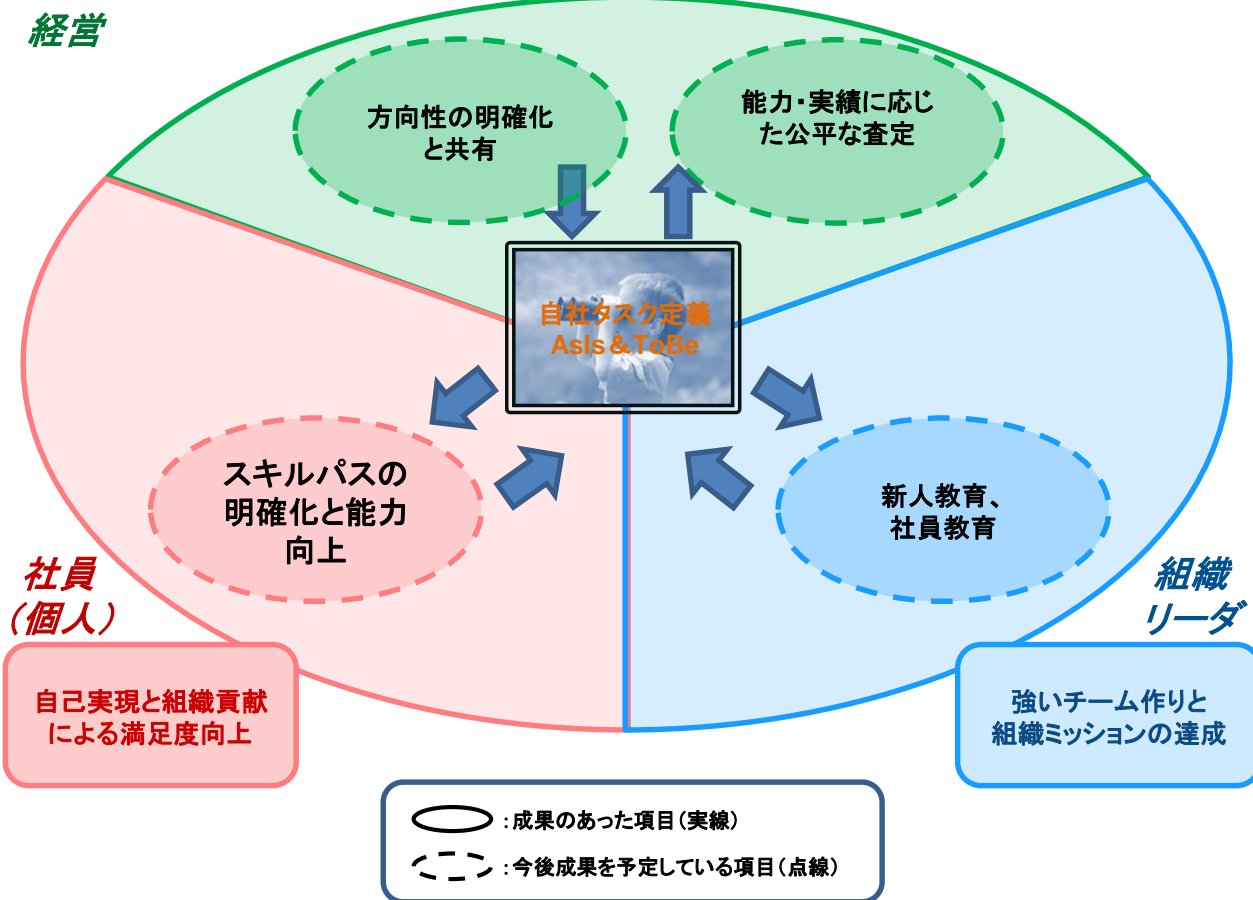


2. 会社概要

- 社名 : 株式会社コミュニケーション・テクノロジー
- 所在地 : 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181 第5キョートビル5F
- 設立 : 平成6年(1994)年4月
- 代表者 : 松本 浩樹
- 資本金 : 1000万
- 社員数 : 9名 (2018年末時点)

3. iCD取組み効果

経営戦略の達成とイノベーションを呼ぶ会社組織の構築



5. iCD活用に対する現場からの評価の声



経営者

実際の業務をタスクとして整理することで、自社の強み弱みが可視化され、役割に応じたスキルを明確に示すことが出来るため、これからの人材育成に非常に役立ちます。



現場リーダー

必要なタスクを取捨選択する上で、TOBE項目も含むように選択しました。従って、組み込み開発という観点では、大分類【組み込みソフトウェア開発】のタスクをプロジェクト開始時に確認し、そのプロジェクトで必要になるタスクを意識し、必要なOUTPUTを作成するようにすれば、よりiCDを意識した開発を行えるのではないかと感じた。当然、都度都度、タスクを弊社にあったものに常にブラッシュアップする意識を持ち、改善していくことが重要であると感じています。半期に一度だけ見るのではなく、常にどのような作業が必要かどうかを意識して実作業を行うようにすることが重要ではないかと。

必要な技術がタスク化され、自分に不足している技術が目に見えて分かるため、今後のキャリア計画が立てやすくなった。ただし、必要な技術が全てピックアップされているとは言い難いため、現場との意識を合わせ、より正確なタスクリストを作成していければと感じた。
人材評価の基準の明確化にも繋がり、会社が必要としている人材をイメージしやすくなった。



社員